石岡市総合計画
第２期基本計画

令和７年度

リーディングプロジェクト

共生・共育・共働によるまちづくり

目 次

- 目指すべき将来の姿、市の方針 …… 1
- リーディングプロジェクト …… 2
- 人口減少対策プロジェクト …… 3
- 輝く「魅力向上」プロジェクト …… 7
- 輝く「まち」プロジェクト …… 9
- 輝く「ひと」プロジェクト …… 10
- 輝く「暮らし」プロジェクト …… 11
- チャレンジする市役所プロジェクト …… 12

石岡市

石岡市の目指すべき将来の姿

本市では、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、あらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができるまちを目指しています。

誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現に向けて、石岡市総合計画基本構想では、以下のように、目指すべき将来の姿（将来像）と、将来像の達成に向けて大切にする基本理念を掲げています。

石岡市総合計画 基本構想 【計画期間：令和４年度～令和13年度】

（本市の最上位計画として、10年間のまちづくりの指針を示している計画）

目指すべき将来の姿（将来像）

『誰もが輝く未来へ　共に創る石岡市』

将来像達成に向けて大切にする基本理念

「安全・安心」　「魅力・発信」　「対話・学び」

市の方針

目指すべき将来の姿の達成に向けて、石岡市総合計画第２期基本計画では、市の方針を以下のように定めています。

共生 －共に生きる－	共育 －共に育つ－	共働 －共に働く－
◇安全・安心に暮らせる社会 ◇都市基盤の整備 ◇環境の整備保全 ◇一人ひとりが活躍し、認め合う地域社会	◇子育て世代に魅力的なまちづくり ◇市民一人ひとりの学びを支援 ◇保健、医療、福祉が充実した社会 ◇社会情勢の変化にも迅速かつ柔軟に対応できる社会	◇誰もがいきいきと働き続けることができるまち ◇積極的な魅力の発信 ◇愛着や誇りの醸成 ◇連携、協働によるまちづくり

リーディングプロジェクト

総合計画第２期基本計画期間

R6 年度 | R7 年度 | R8 年度 | R9 年度

総合計画をより実効性の高いものとするために、第２期基本計画の計画期間（令和６年度～令和９年度）において、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。輝く「魅力向上」・輝く「まち」・輝く「ひと」・輝く「暮らし」・「チャレンジする市役所」の５つのプロジェクトに加えて、本市の喫緊の課題解決に向けて『人口減少対策プロジェクト』を位置づけ、迅速かつ効果的に施策展開を行います。

人口減少対策プロジェクト　～ あなたの「希望」があるまち　いしおか ～

本市の人口は平成17年(2005年)10月１日の合併時の81,887人と比較すると、令和６年(2024年)10月１日現在で69,248人まで減少しており、今後も減少していく予測となっています。

人口減少対策としては、出生率の向上が重要であり、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる魅力的なまちづくりを進める必要があります。

また、若い世代にとって魅力的なまちになることで、転出者の抑制、転入者の拡大につながっていきます。

輝く『魅力向上』プロジェクト

～ あなたの「推し」があるまち　いしおか ～

本市の強みである歴史や観光などの地域資源を最大限に活用し、市の「魅力」を「向上」させることで、市民一人ひとりが郷土に愛着を持ち、自らその魅力を市内外に広く発信できるまちを目指します。

輝く『まち』プロジェクト

～ あなたの「安心」があるまち　いしおか ～

市民が日々生活する基盤である「まち」をよりよいものとしていくため、災害や犯罪などの社会的な不安要素に対して、自助・共助・近助・公助により安全・安心の確保を目指すとともに、都市部・田園空間それぞれの特性を活かした都市基盤の整備・生活環境の向上を目指します。

輝く『ひと』プロジェクト

～ あなたの「生きがい」があるまち　いしおか ～

市民一人ひとりの生涯に焦点をあて、市民の健康増進、医療の充実、福祉の向上を目指すとともに、結婚、出産、子育て、教育・学びといった生涯のあらゆるライフステージでいきいきと生活を送れるまちを目指します。

輝く『暮らし』プロジェクト

～ あなたの「活躍」があるまち　いしおか ～

市民が日々生活する地域の「暮らし」を充実するため、地域内で自立し、持続可能な産業振興を進めます。

また、市民がいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、市民や事業者などが行政と一体となって共にまちづくりを進めることで、多様性を尊重した共生社会の構築を目指します。

チャレンジする市役所 プロジェクト

地方自治体の最大の目的である「住民の福祉の増進」に向けて、安定的・持続的な行政サービスを提供していくため、「行財政改革大綱」として、すべての分野を下支えする「チャレンジする市役所」を位置づけています。

「組織・人材マネジメントの充実」と「経営・財務マネジメントの充実」を２大テーマとして、各施策を横断し、重点的・戦略的に取り組みます。

人口減少対策 プロジェクト

人口減少や少子化対策としては、出生率の向上が重要であり、若い世代が結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえられる魅力的なまちづくりを進める必要があります。また、子育て世代や若者にとって魅力的なまちになることで、人口維持を目指すとともに移住推進にも力を注いでまいります。

STAGE 1 結婚・新婚世帯支援
- ☑ 結婚支援事業
- ☑ 新婚世帯・子育て世帯新生活支援事業

STAGE 2 妊娠期・出産支援
- ☑ 出産・子育て応援給付金
- ☑ 不妊・不育症治療費助成
- ☑ 妊産婦タクシー利用補助
- ☑ こども家庭センターの設置
- ☑ 子育て応援アプリの配信
- ☑ 妊産婦健康診査の助成
- ☑ 妊婦歯科健康診査の実施

STAGE 3 乳幼児期の支援
- ☑ すくすく赤ちゃんクーポン事業
- ☑ 産後ケア事業
- ☑ マル福の拡充
- ☑ ブックスタート・セカンドブック事業
- ☑ 小児科休日診療の実施

STAGE 4 小学生・中学生への支援
- ☑ 令和７年度の学校給食費の無償化
- ☑ スクールバス・路線バス利用者への支援
- ☑ 新入学祝記念品 ランドセル贈呈
- ☑ 保護者向け連絡アプリの導入
- ☑ 教育相談機能の充実
- ☑ こどもの学習支援
- ☑ いばらきっ子郷土検定表彰

STAGE 5 高校生・大学生・社会人への支援
- ☑ 高校生への給付型奨学金
- ☑ 奨学金返還支援事業
- ☑ 通学者・通勤者の定期券・特急券購入補助
- ☑ 高校生等対象の企業説明会・就職説明会等による地元企業支援

STAGE 6 移住・定住支援
- 【拡充】☑ **石岡暮らし体験の実施**
- ☑ 移住定住コーディネーターの設置
- ☑ 移住支援金
- ☑ 住まいに関する助成事業
- ☑ 新規就農者への支援
- 【拡充】☑ **創業支援・住宅店舗等リフォーム支援**

STAGE 1 結婚・新婚世帯支援

【コミュニティ推進課】

結婚支援事業 1,091千円

結婚を希望していながらも出会いの場が少ないことから結婚がかなわない方に対して、茨城県や石岡市などが支援し、ＡＩマッチングサービス等を提供している「いばらき出会いサポートセンター」の登録料を補助します。また、民間マッチングアプリの利用料等についても補助します。

▲ 子育てに関するお得な情報冊子

【こども未来課】

新婚世帯・子育て世帯新生活支援事業 9,300千円

新婚世帯や子育て中の世帯の定住を促進するため、住みよい環境づくりを支援します。

一定の条件を満たした子育て世帯の方及び新婚世帯の方に家賃や引っ越し費用の補助を行います。

石岡市独自の事業を中心に一部抜粋して掲載しています。

STAGE２ 妊娠期・出産支援

【子育て応援課】

出産・子育て応援給付金 39,000千円

出産や育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行い、必要な支援につなげる伴走型支援と、出産、育児用品の購入や子育て支援サービスの利用に活用していただくための経済的な支援として計10万円の現金給付を行います。

【子育て応援課】

不妊・不育症治療費助成 4,500千円

不妊治療や不育症に対する経済的な支援により、前向きに治療に取り組むことができるきっかけづくりを行うことで、妊娠を希望する方へのサポート体制の充実を図ります。

【子育て応援課】

妊産婦タクシー利用補助 250千円

いざという時の通院手段の不安解消と通院にかかる交通費負担を軽減するため、タクシーの利用料金について1回の妊娠につき４回まで、１回上限10,000円を補助しています。

STAGE３ 乳幼児期の支援

【子育て応援課】

すくすく赤ちゃんクーポン事業 15,200千円

乳児の健やかな成長を願い、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、満１歳未満児の子育て用品と引き換えることができる「すくすく赤ちゃんクーポン券」を交付します。

【子育て応援課】

産後ケア事業 2,400千円

産婦健康診査等によりケアが必要と判断された母親に対し、訪問・宿泊・通所による支援を行い、母親の身体的回復と心理的な安定を促進します。

【保険年金課】

マル福の拡充（市独自で対象者を拡大） 58,185千円

市内に住む医療保険加入者で小児、妊産婦、ひとり親家庭の児童と父又は母、重度心身障がい者を対象に、保険診療に係る一部負担金を助成しています。加えて県のマル福制度の所得基準額を超えたことにより対象外となった小児、妊産婦及び中学生から18歳までの外来受診に対し、保険診療に係る一部負担金を助成します。

STAGE４ 小学生・中学生への支援

【学校給食課】

令和７年度の学校給食費の無償化

市内小中学校に通う児童生徒の保護者が負担する学校給食費を免除します。（関連して、食物アレルギーにより、弁当を持参している児童生徒の保護者に対して学校給食費相当分を補助します。）

【教育総務課】

スクールバス・路線バス利用者への支援

遠距離通学の小学生・中学生に対してバス利用料を支援します。学校の統廃合によってスクールバスを利用している場合は、無料。通学距離が小学校で４㎞以上、中学校で６㎞以上あり、スクールバスまたは路線バスを利用している場合は、実質無料。上記以外のスクールバス利用者の自己負担は月額2,000円です。

【教育総務課】

新入学祝記念品 ランドセル贈呈 15,196千円

小学校に入学する児童に対し、入学祝品として、ランドセルを給付することで、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

STAGE５ 高校生・大学生・社会人への支援

【教育総務課】

高校生への給付型奨学金 3,600千円

成績が優秀でありながら経済的な理由から就学困難な、市内在住の生徒に対して、返還の必要のない奨学金を給付します。令和６年度からは、年間給付額や採用人数を拡充しており、より多くの高校生を支援しています。

【商工観光課】

奨学金返還支援事業 3,206千円

市内企業等の人材確保を図るため、大学等を卒業後、市内企業に就職し、県奨学金および日本学生支援機構奨学金等の奨学金を返還している市内定住の35歳未満の市民に対し、奨学金返還費用の一部を補助します。

【人口創出課】

通学者・通勤者の 定期券・特急券購入補助 15,000千円

転出抑制と移住推進、通勤通学に係る経済的負担の軽減のため、ＪＲ常磐線を利用して通勤通学している方の、特急券および通学定期券の購入費を一部補助します。

石岡市独自の事業を中心に一部抜粋して掲載しています。

STAGE 6 移住・定住支援

拡充 【人口創出課】

石岡暮らし体験の実施 2,298 千円

先輩移住者の元を巡りながら「暮らし」・「生業」体験を通して接点を築き、地域を知ることで移住へのハードルを下げることを目的として石岡暮らし体験を実施します。

▲ 石岡暮らし体験の様子

【人口創出課】

移住定住コーディネーターの設置 5,660千円

移住者・移住希望者からの相談対応として、市内コーディネートや移住定住に関するイベント等への参加・協力等を行う移住定住コーディネーターを設置し、移住者・移住希望者の個別ニーズに対応します。

【人口創出課】

移住支援金 13,600千円

首都圏からの移住促進のため、一定の条件を満たした移住者に移住支援金を交付し、本市への移住を促します。

【建築住宅指導課】

住まいに関する助成事業 15,700千円

市外からの転入者が住宅を建築する場合、その建築費用の一部を補助します。さらに、中心市街地に建築する場合や、一定の条件を満たしたUターン移住者においては補助額を上乗せします。

【農政課】

新規就農者への支援 40,410千円

朝日里山ファームにおいて、新たに農業を営もうとする方に、農業経営に必要な技術や知識を習得する環境を提供し、有機農業などの地域農業を支える担い手育成や活性化を図ります。また、石岡市新規就農者支援センターでは、就農相談から就農後の定着・経営発展まで支援を行い、次世代を担う農業者の経営確立支援を推進します。

拡充 【商工観光課】

創業支援・住宅店舗等リフォーム支援 10,375 千円

市内空き店舗等への新規創業を目指す方を応援する「創業支援事業費補助金」や住環境の整備、店舗の魅力度や機能性の向上を支援する「住宅・店舗等リフォーム支援事業費補助金」により、市内で事業を行う方や、住環境の向上を図りたい市民・移住者を支援します。

輝く「魅力向上」プロジェクト

令和7年10月1日に市制施行20周年を迎えます。関係人口や交流人口の創出に向けて、シティプロモーションをはじめとする様々な取組を行うとともに、本市の強みである歴史・文化財の保存、活用や観光資源の磨き上げなどを通して「魅力向上」を図ってまいります。

石岡市市制施行20周年記念事業

新 規 【秘書広聴課】

市制施行20周年記念事業 3,687 千円

石岡市制施行20周年を記念し、式典を開催します。式典では、伝統芸能であるお囃子や石岡の未来を担う児童生徒による合唱、ふるさと学習発表等を実施します。

◀石岡市市制施行20周年記念ロゴマーク

新 規 【秘書広聴課 わがまち発信室】

石岡市公式マスコットキャラクター着ぐるみ作成 2,805 千円

令和６年度に実施した「石岡市推しキャラ総選挙」で1位に輝き、市公式マスコットキャラクターに決定した「ししまる君」の着ぐるみを作成します。着ぐるみについては、市の各種イベントや特産品の販売促進活動、その他メディアへの露出機会などにおいて幅広く利活用します。

◀石岡市公式マスコットキャラクター「ししまる君」

20周年冠事業 【スポーツ振興課】

石岡つくばねハーフマラソン大会の開催 16,000 千円

令和５年度から「石岡つくばねハーフマラソン　Ｌｉｖｅ　ｅｖｅｒｙ　ｍｏｍｅｎｔ！」を開催しています。市内外から多くの人が訪れることで、関係人口や交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指します。

▲ 第１回石岡つくばねハーフマラソンの様子（令和６年２月18日開催）

新 規 20周年冠事業 【道路建設課】

上曽トンネル開通記念事業 5,600千円

桜川市と共同でトンネル開通記念式典を実施します。

また、トンネル開通プレイベントとして関係者や一般参加者を募り、スタンプラリーを取り入れたウォーキング大会を開催します。

▲上曽トンネル完成イメージ（石岡市上曽側）

☑ 政策目標１　情報発信
☑ 政策目標２　歴史・観光

石岡市市制施行20周年記念事業

拡 充　20周年冠事業　【介護保険課】

介護予防講演会及び フレイル予防体験会　300千円

介護予防の必要性について啓発を図るため、65歳以上の高齢者を対象に毎年1回講師を招き講演会を開催しています。令和７年度は、対象者を60歳以上に拡大します。講話だけでなく体験ブースを設けフレイル予防啓発の充実を図ります。

▲ 介護予防講演会の様子

その他の市制施行20周年冠事業

- ☑ 石岡ふれあいまつり
- ☑ 海外プロ演奏家による中学生実技指導＆コンサート
- ☑ 市民史跡めぐり
- ☑ 石岡市文化財調査報告会
- ☑ 筑波山地域ジオパーク講演会
- ☑ ふるさと学習交流事業
- ☑ 消防出初式
- ☑ 総合防災訓練

歴史・文化財の保存・活用

【文化振興課】

国指定史跡等の 公有地化事業　13,330千円

国の指定を受けた史跡の公有地化を進めることにより、保存と活用を図り、貴重な文化財として後世に残していきます。令和７年度は舟塚山古墳周濠部の公有地化を進めます。

【文化振興課】

民俗文化財等調査事業　6,230千円

常陸國總社宮祭礼の獅子・山車・ささら行事に関して、令和５年度から継続して調査を行い、報告書を作成します。

観光振興の強化

【産業プロモーション課】

誘客促進に向けた 情報発信の強化　4,990千円

国内外から「観光客を誘致する」ための誘客プロモーションを実施します。SNS、動画等によるPRなど情報発信を強化していきます。

【商工観光課】

いばらきフラワーパーク 駐車場整備事業　18,000千円

いばらきフラワーパークでは、季節を感じるアクティビティや四季折々の花々、イルミネーションやバラ祭りなどの充実により観光客の増加を目指しています。隣接する駐車場の整備を実施し、渋滞緩和対策を行うとともに、常陸風土記の丘など、他の観光施設との連携により、本市の魅力が伝わる観光拠点づくりに努めます。

輝く「まち」プロジェクト

☑政策目標３ 安全・安心
☑政策目標４ 都市基盤・環境

子育て世代や若者をはじめ様々な世代の方が、住みたい住み続けたいと思えるまちづくりを推進してまいります。災害の発生や犯罪などに対して安心して暮らせる取組や環境整備、ゼロカーボンシティに向けた取組などを進め、市民が日々生活する基盤である「まち」づくりに磨きをかけてまいります。

住みよいまちづくりの推進

【道路建設課】

上曽トンネル整備事業（維持管理） 42,760千円

地域住民の生活・交流に加え、地元産業や物流・観光を支える重要な路線として、上曽峠のトンネル整備を進め、県南地区と県西地区間のネットワーク強化による広域的な地域活性化を目指します。

【駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室】

複合文化施設（市民ホール）整備事業

地域文化をはじめとする文化芸術を継承、交流、発信する文化拠点であるとともに、人々が集い、互いに絆を結ぶ交流拠点を目指します。

安心して暮らせる環境整備

拡充 【防災危機管理課】

災害リスクに備えた防災体制の充実 27,388千円

市民の安全・安心のため、災害リスクに備えた対策の一環として、浸水想定区域における防災訓練を令和７年度も引き続き実施するとともに、内水浸水想定区域図の作成を進めていきます。また、総合防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚を図ります。そして、地域の防災力向上に期待できる防災士資格取得補助金を新たに創設するとともに、地域コミュニティによる自助、共助の強化等を目的として、自主防災組織の設立・活動に関する支援を継続します。

◀令和６年度に実施した地域防災訓練の様子

【生活環境課 空家相談室】

空家等対策事業 3,615千円

空家の相談体制を強化したことにより、所有者等による適切な管理の促進とともに、周辺住環境に悪影響を及ぼす空家の除却等の対策を推進します。また、空家の発生抑止や荒廃化の未然防止を推進するとともに、空家・空地バンクを活用した多様な利活用を推進します。

▲空家等の地域資源活用例：茅葺民家

その他の 輝く「まち」プロジェクト 注目事業

☑【高齢福祉課】買い物支援実証事業　2,067千円

ゼロカーボンシティに向けた主な取組

☑【生活環境課】プラスチックごみの再資源化事業　3,967千円
☑【生活環境課】家庭用蓄電システム導入促進補助金　1,100千円

輝く「ひと」プロジェクト

☑政策目標５ 健康・福祉
☑政策目標６ 子育て・教育・学び

妊娠・出産・子育て・教育に対して、切れ目のない支援を行うことで、総合的な子育て支援、教育環境の充実を図ります。また、本市に必要な保健・医療体制の強化を図ることや、生涯現役社会を目指すことで、それぞれのライフステージでの活躍を支援してまいります。

子育て・教育支援の充実

新規 【学校教育課】

教育支援センターの設置

不登校支援や特別支援教育、日本語指導など、一体的な支援が可能な施設となります。

一人ひとりのニーズに応じて、小集団からの人間関係づくり、居場所の提供、学習支援、日本語支援、社会的自立のための相談・支援をしていきます。

▲教育支援センター（旧北小学校）

拡充 【教育総務課　学校再編推進室】

GIGAスクール構想の推進　117,503千円

GIGAスクール構想の推進のため、令和２年度に導入した端末の更新を行うとともに、WEBフィルタリング機能や時間制限機能、端末モニタリング、カンニング防止機能を設けることで児童生徒の適切な端末の活用を促し、教員による児童生徒の端末活用状況の把握や個別学習の支援を進めます。

【子育て応援課】

子育て応援アプリの配信　476千円

伴走型支援の一環としての情報提供やアンケート等支援ツールとしての活用及び妊産婦にとって使いやすい育児支援ツールとして母子健康手帳機能を含んだ子育て応援アプリを配信しています。

保健・医療体制の充実

拡充 【健康増進課】

総合保健センター（仮称）設計業務　110,842千円

老朽化している石岡保健センターと八郷保健センターを統合し、ふれあいの里周辺に新しく総合保健センター（仮称）を整備します。令和７年度は設計業務を実施し、令和９年度の開設を目指します。

【健康増進課 地域医療対策室】

地域医療対策事業　58,386千円

病院群輪番制や小児科休日診療、昨年７月に開始した緊急診療（総合診療）、小中学校への出前講座などの取組を引き続き実施するとともに、産科の設置等に向け、かすみがうら市、小美玉市と連携して協議を継続し、石岡地域に必要な医療体制の構築を目指します。

その他の 輝く「ひと」プロジェクト 注目事業

☑【こども未来課】保育所等の体制強化推進　44,291千円
☑【高齢福祉課】生涯現役プラチナ応援事業　6,948千円
☑【健康増進課】子宮頸がんワクチン接種の助成対象拡大　38,313千円

輝く「暮らし」プロジェクト

☑政策目標７　産業・経済
☑政策目標８　地域・文化

企業誘致をはじめとした各取組を推進し、持続可能な商工業や農業の振興を図ってまいります。また、市民が主体となり行う文化芸術活動や地域コミュニティの活性化に向けた取組の支援などにより、様々な人が活躍出来る共生社会の構築を目指してまいります。

持続可能な産業振興

拡充 【農政課】

地域ぐるみの有機農業の推進　7,235千円

石岡市の有機農業は、生産者・団体等が国から受賞・表彰されるなど高い評価を受けています。令和７年度は、地域ぐるみで有機農業を推進するため、生産者・団体等と協力し、学校給食への有機農産物の提供や、有機農業に関するイベントを開催します。

▲石岡市産の野菜

【産業プロモーション課　企業誘致推進室】

産業用地の確保と企業誘致の推進　12,884千円

新規企業の誘致に向け、新たな産業用地を確保するための取組を実施していきます。令和７年度は、企業ニーズや地域の意向を踏まえながら、必要な手続を進めていきます。また、引き続き市内未利用地への企業誘致を推進していくとともに、既存企業への支援を実施していきます。

▲柏原工業団地

文化芸術の推進

【文化振興課】

海外プロ演奏家による中学生実技指導＆コンサート　997千円

市内の中学生がプロ演奏家から実技指導を受け、演奏家とともに出演するコンサートを開催します。中学生が身近な場所で指導を受けられる環境づくりと、合わせて、市民が音楽などの芸術文化に親しむ取組を推進します。

【文化振興課】

市民がつくるコンサート開催事業　500千円

市民が主体となった文化芸術活動を推進するため、市民がつくるコンサートを通じて優れた文化芸術と触れ合える機会を創出する事業に対して補助を行います。

その他の 輝く「暮らし」プロジェクト 注目事業

☑【農政課】農業経営のリスクに備える収入保険加入支援　1,000千円
☑【農政課】市･県産木材による工作キットの製作と利活用　297千円
☑【人口創出課】男女共同参画の推進　406千円

チャレンジする市役所 プロジェクト

政策目標９ チャレンジする市役所

チャレンジする市役所の２大テーマ

挑戦し、やりがいが得られる組織風土・人材育成を目指す組織・人材マネジメントと、限りある財源を効果的・効率的に活用し、様々な行政サービスへの需要に答える経営・財務マネジメントの充実を図り行政経営を継続することで、各施策を横断して、迅速かつ効果的に取り組んでまいります。

組織・人材マネジメントの充実

主な取組 組織づくり、人材の確保・育成による温かみのあるサービスの提供に向けた取組

- ●組織機構の最適化
- ●人材の確保・定員管理
- ●コンプライアンスの徹底
- ●働き方改革の実践
- ●民間活力の積極的な活用

経営・財務マネジメントの充実

主な取組 行政資産（ヒト・モノ・カネ）を有効に活用し、様々な行政サービスへの需要に応えるための取組

- ●財政推計との連動を高める事業査定
- ●市民に対する財政推計の積極的な情報公開
- ●ファシリティマネジメントの推進
- ●ふるさと応援寄附金や有利な地方債、国県補助金等の活用による歳入確保

※ファシリティマネジメント：組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画・管理・活用して最適化を図る経営活動

組織・人材、経営・財務マネジメントの充実

新規 【総務課】

職員採用試験のテストセンター方式及び管理システムの導入 2,878千円

自庁内で実施してきた職員採用1次試験を委託によるテストセンター方式に変更し、あわせて試験の受付から受験者の管理、通知発送まで一元管理するためのシステムを導入します。

新規 【政策企画課】

公共施設管理の包括的な民間委託の導入 177,137千円

小中学校・保育所等を対象に部署ごと・施設ごとに契約している施設の維持管理や軽微な修繕業務を一括して民間事業者に委託することにより、施設管理水準の向上と業務効率化による市民サービスの向上等を図ります。（令和９年度までの債務負担行為）

デジタル技術を活用した取組

新規 【総務課】

住居表示台帳のデジタル化 15,400千円

現在、紙媒体で管理している住居表示台帳を電子データ化し、管理・編集するシステムを導入します。手作業で行っていた台帳更新作業及び管理事務の正確性向上と効率化を図るとともに、市民からの新築届による登録や地番の問い合わせ等に迅速に対応できるようすることで、市民サービスの向上を目指します。

新規 【契約検査課】

電子契約システムの導入 1,518千円

インターネット上で、市と事業者が契約書の文面を記録した電子データにより契約締結（電子署名・タイムスタンプ）するシステムを導入します。システムを導入することにより紙文書の契約書の作成が不要となり、双方の負担軽減に繋がります。また、インターネット環境があれば来庁しなくても契約が結べるようになることによって事業者の利便性の向上に寄与します。

【令和７年度】
石岡市総合計画第２期基本計画
リーディングプロジェクト

Ishioka City

発行　石岡市 市長公室政策企画課

〒315-8640
茨城県石岡市石岡一丁目１番地１
0299-23-7277
0299-22-5276
kikaku@city.ishioka.lg.jp